

可児市文化創造センター ala 主劇場

2026年9月14日(月) 南演14時

貫地谷しほり
増子俊文江
香寿たつき
瀬戸さおり
岡本 玲
若村麻由美

井上ひさし 作
栗山民也 演出

『井上ひさし 金髪屋敷の三』所収・新潮社刊

頭痛肩こり樋口一葉

発売日 7月25日(土) ※電話予約は翌7月26日(日)

音楽 宇野誠一郎
美術 松井るみ
照明 服部基
音響 山本浩一
衣裳 前田文子
メイク 鎌田直樹
かつら 奥山光映
音楽監督 国広和毅
歌唱指導 高瀬 Makorino 麻里子
殺陣 渥美博
振付 田井中智子
宣伝美術 ささめやゆき
演出助手 戸塚 萌
舞台監督 村田 旬作
統括 井上 麻矢

全席指定 7,000 円
25才以下 3,500 円
※未就学児入場不可

主催：公益財団法人可児市文化芸術振興財団



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ
可児市文化創造センター ala
0574-60-3311

樋口一葉 頭痛肩こり

人は貧しさの中でも誇りを持って生きられると問うた
明治の天才女流作家・樋口一葉。
短い人生を駆け抜けた一葉の日記から紐解くのは、
あの世とこの世の堺で生きた愛しい女性達のそれぞれの運命。
あの女性たちもまた会える…。
すべての人に捧げる儚くも優しい記憶の物語、待望の上演。

<あらすじ>

明治の盆の夕刻ごとに、若き樋口一葉(夏子)の歳月をたどる評伝劇。母や妹、気のいい人々に囲まれ、にぎやかなやりとりが行き交う日々のなかで、夏子は書くことに向き合っていく。そこへ盆歌に導かれて現れた幽霊「花螢」。歌い、笑い、語り合う不思議なひとときが、夏子の心を少しずつほぐしていく。現世と異界がやわらかく交わる、軽やかでどこか可笑しい物語。



貫地谷 しほり



増子 俊文江



香寿 たつき



瀬戸 さおり



岡本 玲



若村 麻由美

井上ひさし
栗山民也
演出 作

こんなわけで、死を前にしたときに自分に本当に愛するものがあるかどうか。

あれば救われ、なければ地獄、ということを一葉女子の生涯はわたしたちに語ってくれているように思われます。——— 井上ひさし

可児市文化創造センター ala 主劇場

2026年9月14日月

開演 14:00 ※開場は開演の30分前

全席指定：一般 7,000円 25才以下 3,500円

※未就学児の入場はご遠慮ください

チケット発売：7月25日(土) 9:00

※電話予約は翌26日(日) 9:00から

チケット取り扱い

可児市文化創造センターala インフォメーション

Tel.0574-60-3050

9:00~19:00／火曜休館、祝日の場合は開館・翌平日休み

インターネット予約 <http://www.kpac.or.jp>



インターネット
予約対象

お得なチケット
割引サービス



当日ハーフ
プライス



チケット
れすQ
対象公演



託児サービスあり

1人 500円

申込締切
8月31日(月)まで

<https://www.e-get.jp/kpac/pt/>

※割引サービスの詳細はアラホームぺージをご覧ください。

お問い合わせ

可児市文化創造センター *ala*

Tel. 0574-60-3311 (9:00~22:30)

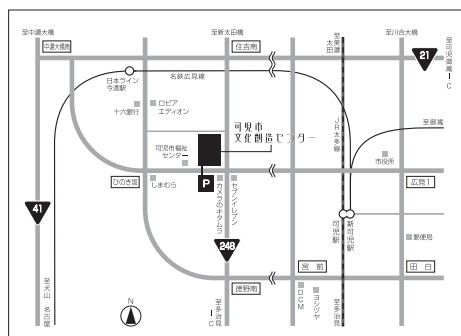
火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

〒509-0203 岐阜県可児市下恵士3433-139

URL <https://www.kpac.or.jp>

アール

検索



交通
アクセス

- 名鉄名古屋駅より約50分・日本ライン今渡駅下車、徒歩10分
- 中央自動車道 多治見ICから・国道248号線経由で約20分
- JR名古屋駅より約50分・可児駅下車、タクシーで約5分
- 東海環状自動車道 可児・御嵩ICから約15分



kpaciala



kani_0727



@kani_ala